

2019年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月8日

上場会社名 日本パワーファスニング株式会社
 コード番号 5950 URL <http://www.jpfn-net.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 土肥 雄治
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 海保 好秀

TEL 06-6442-0951

四半期報告書提出予定日 2019年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	1,704	1.0	75		76		227	
2018年12月期第1四半期	1,721	9.1	30		85		89	

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 96百万円 (%) 2018年12月期第1四半期 118百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	14.00	
2018年12月期第1四半期	5.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	9,054	2,995	33.1
2018年12月期	8,642	3,092	35.8

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 2,995百万円 2018年12月期 3,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		0.00	0.00
2019年12月期					
2019年12月期(予想)		0.00			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年12月期の期末日における配当予想額は未定とさせていただきます。

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	0.7	50		60		75		4.62
通期	7,800	5.4	70		50		15		0.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期1Q	18,688,540 株	2018年12月期	18,688,540 株
期末自己株式数	2019年12月期1Q	2,463,241 株	2018年12月期	2,463,241 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期1Q	16,225,299 株	2018年12月期1Q	16,225,459 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境の改善が継続する一方、米中の貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱問題、中国を始めとする世界経済の減速懸念等から企業の業況判断が悪化傾向を示すなど、先行きの警戒感が強まりました。

当社グループの業績に關係の深い住宅市場におきましては、賃貸住宅については不振が続きましたが、持家住宅の着工戸数が堅調に推移したことにより、新設住宅着工戸数は前年同期に比べ5.2%増加しました。

このような経済環境のもと、当社グループは新製品の開発強化や従来品のグレードアップ等競争力の強化に努めるとともに事業所の統廃合や資産売却を進める等、中期経営計画（2018年2月策定）で掲げた重点施策を推進し、収益力の基盤強化と経営のスリム化に取り組んでまいりました。一方で、原材料価格や運賃等の諸経費の上昇が継続する等、依然として厳しい経営環境が続いております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比1.0%減の1,704百万円となりました。日本市場では一般建築用を中心にファスナー・ガスツールの売上が好調に推移し、昨年11月に事業撤退した太陽光発電パネル組み立て加工の売上減をカバーしたものの、中国市場において自動車用部品の売上が低調に推移しました。営業損益は、原材料価格や運賃等の諸経費の上昇分を売価へ転嫁することが遅れていることに加え、中国での売上低調による固定費負担の増加から75百万円の損失（前年同期は30百万円の損失）となりました。経常損益は76百万円の損失（前年同期は85百万円の損失）となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は投資有価証券に係る評価損の計上や、生産物流体制再編に伴う事業再編損の追加計上等により227百万円の損失（前年同期は89百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

資産合計は前連結会計年度末に比べ412百万円増加の9,054百万円となりました。これは現金及び預金の減少131百万円、受取手形及び売掛金の減少99百万円、電子記録債権の増加483百万円並びに建物及び構築物の増加116百万円が主な要因であります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ508百万円増加の6,058百万円となりました。これは短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の増加628百万円並びに長期借入金の減少186百万円が主な要因であります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ96百万円減少の2,995百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少227百万円及びその他有価証券評価差額金の増加108百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期会計期間の業績は期初の計画を下回っている状況であります。今後、業績予想に関して修正する必要が生じた時点で速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	798,708	667,487
受取手形及び売掛金	1,699,645	1,600,578
電子記録債権	584,050	1,067,438
商品及び製品	1,125,595	1,187,520
仕掛品	362,675	395,641
原材料及び貯蔵品	585,853	606,452
その他	101,852	70,640
貸倒引当金	△219	△259
流動資産合計	5,258,163	5,595,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	872,133	988,657
機械装置及び運搬具(純額)	580,130	573,495
土地	1,090,077	1,090,077
その他(純額)	127,675	91,171
有形固定資産合計	2,670,017	2,743,401
無形固定資産	84,071	85,201
投資その他の資産		
投資有価証券	292,721	298,628
その他	343,319	337,717
貸倒引当金	△6,261	△6,261
投資その他の資産合計	629,779	630,084
固定資産合計	3,383,867	3,458,687
資産合計	8,642,031	9,054,187

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	791,799	819,806
電子記録債務	681,250	707,976
短期借入金	1,123,620	1,798,640
1年内返済予定の長期借入金	820,665	774,266
未払法人税等	22,475	12,511
賞与引当金	424	41,598
その他	422,862	408,831
流動負債合計	3,863,097	4,563,630
固定負債		
長期借入金	1,532,678	1,345,783
退職給付に係る負債	8,950	7,906
その他	145,179	140,868
固定負債合計	1,686,807	1,494,557
負債合計	5,549,905	6,058,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,550,000	2,550,000
資本剰余金	1,528,007	1,528,007
利益剰余金	△710,549	△937,709
自己株式	△412,259	△412,259
株主資本合計	2,955,197	2,728,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△72,755	36,167
土地再評価差額金	△221,272	△221,272
繰延ヘッジ損益	—	△265
為替換算調整勘定	430,955	453,331
その他の包括利益累計額合計	136,927	267,961
純資産合計	3,092,125	2,995,999
負債純資産合計	8,642,031	9,054,187

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,721,483	1,704,581
売上原価	1,328,793	1,349,287
売上総利益	392,690	355,293
販売費及び一般管理費	422,805	430,844
営業損失(△)	△30,114	△75,550
営業外収益		
受取利息	464	660
為替差益	—	9,599
その他	9,525	3,621
営業外収益合計	9,990	13,880
営業外費用		
支払利息	8,598	9,883
為替差損	52,127	—
その他	4,480	4,624
営業外費用合計	65,206	14,507
経常損失(△)	△85,330	△76,177
特別損失		
投資有価証券評価損	—	118,870
事業再編損	—	28,090
特別損失合計	—	146,960
税金等調整前四半期純損失(△)	△85,330	△223,138
法人税等	4,051	4,021
四半期純損失(△)	△89,382	△227,160
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△89,382	△227,160

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純損失(△)	△89,382	△227,160
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,527	108,923
繰延ヘッジ損益	—	△265
為替換算調整勘定	△14,298	22,376
その他の包括利益合計	△28,825	131,034
四半期包括利益	△118,208	△96,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△118,208	△96,126
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。